RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 企業・地域パートナー向け企画提案

学びを届ける。
その地域に、
次の一歩を残す。

住む場所や家庭の経済事情にかかわらず、学び、挑戦し、バスケットボールを楽しみ続けられる環境を。



写真はRBAの過去の活動記録です。2027年ツアーの開催実績ではありません。

選手のクリニック、地域指導者との学び、4週間のフォローをつなぐ全国育成企画。企業の応援を、地域に続く練習と参加機会へ変えていきます。

初年度計画：2027年1月〜12月 / 6地域・12開催日 / 延べ480受講枠

企画・実施責任：Riot Basketball Academy 代表 西尾優人
企画基準日：2026年11月1日
本書の目標・料金・協賛額は計画・協議案です。開催日、会場、補助枠、契約は確定していません。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 01 / VISION & PROGRAMME

一日の経験を、
日々の練習につなぐ。

自分で見て、考え、試せること。失敗してもまた挑戦できること。RBAが届けたいのは、その経験と、続けられる練習です。地域の指導者と目的を共有し、コートで起きたことを一緒に振り返ります。

段階	届ける内容
開催前	対象年代、習熟度、学習課題、学校・大会日程、会場条件を地元担当と確認。
当日：選手	小学4〜6年／中学1〜2年を目安に120分×2クラス、各20人。ゲームの中で判断を学び、同じ課題で前後の変化を観察。
当日：大人	地域指導者との60分の対話、保護者への短い共有。観察する点と練習を工夫する理由を言葉にする。
4週間	持ち帰れる練習計画を提供し、30日後にオンラインで振り返る。続けられたこと・難しかったことを確認。
再訪	6〜10週間後を目安に計画。初回の課題を見直し、新しく参加する子にも機会をつくる。

当日の標準構成

9:00〜11:00 U12 / 11:15〜11:35 保護者への共有 / 13:00〜15:00 U15 / 15:15〜16:15 指導者対話。設営・撤去を含む会場枠を確保し、時間は現地条件で調整します。

体制：主指導者1人＋現地補助者2人を標準案とし、会場と参加人数に応じて決定。既存チームの大会・練習を尊重し、技術・競技成績の改善は保証しません。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 02 / FIRST-YEAR TARGETS

初年度の目標と、成果の確かめ方。

目標	定義
開催地域：6地域	生活圏を単位に選定。47都道府県開催の約束ではありません。
開催日数：12日	各地域で初回と再訪を計画。会場・大会・資金の確認後に確定。
受講機会：延べ480枠	1日2クラス×各20人×12日。120分の有料・補助枠を含む。
実参加者：300人以上	同じ年度内の重複を除く目標。480枠と足し合わせません。
参加費補助：延べ80枠	全額補助の目標。原資と選定基準の確定後に募集。
地域指導者：延べ60人	各開催日の見学・対話に平均5人。重複を含む。

実施数と学習成果を分けて報告します。

指標	目標・数え方
30日後の回答率	実参加者の70%以上。回答者数／対象人数、未回答人数を併記。
練習継続	回答者の70%以上が、4週間のうち3週以上、提案課題を週1回以上実施できたと回答。本人・保護者の自己申告として報告。
地域指導者の活用	回答した指導者の70%以上が、持ち帰った練習例を1回以上実施。回答数と対象数を併記。
学習課題の変化	同じ課題の前後を観察。人数、条件、評価方法を記録し、クリニックの因果効果と断定しない。

延べ480枠と実人数300人を合算しません。同じ子の再訪参加を重複排除して数えます。補助80枠も延べ数であり、80人への確約ではありません。実績が目標に届かない場合も、そのまま報告します。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 03 / DELIVERY PLAN

地域で組み、
無理なく回り、再訪する。

まず宮城・山形・青森など既存の接点がある地域で実証し、関東・東海・近畿へ段階的に広げます。6地域は生活圏を単位に選定する目標で、都道府県の開催数ではありません。

時期	作業と実行条件
2026年11〜12月	地域の協力者、需要、県・地区・クラブ大会、学校行事、会場、暖房込み費用を照合。企業に対象地域と必要額を提案。
2027年1〜3月	東北で初回の実証。宮古1/23の既存予定、青森・山形の検討を保護し、日程・会場確認後に決定。
4〜9月	2027年度大会予定を照合し、関東・東海・近畿の候補へ展開。初回の6〜10週間後を目安に再訪を調整。
10〜12月	残る再訪、年度集計、予算と成果の差を報告。次年度の地域と規模を判断。

RBAが主導し、地域の人と役割を分けます。

担当	責任
RBA代表	企画、指導設計、協賛窓口、費用管理、開催判断、成果報告。
地域担当	大会・学校事情、会場手続き、募集経路、補助者、当日連絡の調整。
企業	支援目的、対象地域、使途、ブランド利用、報告・精算条件を合意。

移動は同一地域でまとめ、夜間の長距離移動や毎日の県移動を前提にしません。1拠点で対象を替える方法と近隣2都市を比較し、再訪時も既存の行程を活用します。暖房、キャンセル条件、主指導者の準備・移動・報告の費用を含めて判断します。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 04 / BUDGET & FUNDING

必要な費用を、参加費と協賛で支える。

年間360万円＝1日30万円×12日。以下は見積取得前の予算モデルであり、地域ごとの実費により変わります。育成目的・営利を目的としない開催でも、指導と運営に必要な人件費を適正に計上します。

費目	1日	12日
会場・冷暖房・照明	30,000円	360,000円
主指導者謝金・事前設計	80,000円	960,000円
現地補助者・運営協力	30,000円	360,000円
移動・宿泊	50,000円	600,000円
教材・4週間のフォロー	30,000円	360,000円
保険・備品	15,000円	180,000円
募集・受付・事務	25,000円	300,000円
成果・使途報告	20,000円	240,000円
予備費	20,000円	240,000円
合計	300,000円	3,600,000円

資金計画：協賛240万円＋参加費120万円

参加費は400枠×3,000円＝120万円、全額補助80枠を想定。協賛240万円の組合せ例は、年間60万円×1件＋地域30万円×4件＋開催10万円×6件。契約・入金はこれからです。

比較基準4,400円／枠の場合も残る運営費148.8万円、一般400枠の料金軽減56万円、80枠の全額補助35.2万円＝協賛240万円の働きという計算例です。新料金の確定や既存イベントの変更ではありません。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 05 / PARTNERSHIP

企業の目的に合わせて、
支援と報告を組み立てる。

年間協賛 60万円

全体の開催基盤と成果報告を支える。企画ページへの社名・ロゴ、四半期報告4回、年次報告1回、社内共有用の活動紹介文。

地域協賛 30万円

合意した1地域の初回・再訪を支える。該当地域の告知・報告への社名・ロゴ、地域レポート2回、地域指導者との振り返り。

開催協賛 10万円

合意した1開催日の一部費用を支える。該当開催の案内・報告への社名、開催レポート1回。

地域応援 3万円から

会場・用品・移動等の必要費用への協力。内容と報告範囲を個別に合意。物品・会場協力も相談可能。

協賛額・掲載・報告の条件

対象期間、地域、掲載先・サイズ・期間、報告内容、税込総額、支払期日、取消・延期時の精算を見積と契約で確定します。独占・命名権・競合排除は標準特典に含まず、別途協議します。

年間協賛60万円は全体、地域30万円は1地域の初回・再訪、開催10万円は1開催日の一部費用を支える案。金額だけで全費用を賄えるとは限りません。月額の既存応援制度とは別契約です。

地域企業には地元の参加機会、広域企業には複数地域での取り組み、医療・教育分野には地域指導者の学びとの連携を提案します。物品・会場協力は必要性・数量・品質を確認し、未確定の金額を現金協賛として数えません。

売上・採用・SNS到達数は保証しません。子どもの名簿提供、直接営業、補助利用者の広告出演、参加・選抜の優遇を特典にしません。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 06 / ACCOUNTABILITY

支援の使途と成果を、確認できる形で返す。

報告時期	報告内容
開催後14日以内	実施日・場所・内容、実人数と延べ枠、補助実施枠、スタッフ、事故・変更の有無。
開催後45日以内	30日後の回答率・継続状況、地域指導者の活用、費目別の支出・予算差、改善点。
四半期・年度末	年間協賛向け四半期報告4回と年次報告1回。開催・補助・費用・成果を集計し、計画との差を説明。

参加費補助の運用

原資、対象地域・学年、対象となる負担、上限枠、申込・選定・通知方法、取消時の扱いを募集前に公開。地域担当者の推薦等を使う場合も基準を統一します。経済事情の公表は求めず、必要最小限の情報をRBAが管理します。氏名・事情は企業に渡しません。

写真と企業名の使い方

肖像利用の同意は参加同意と分け、撮影・公表を断っても参加条件を不利にしません。企業の社内外使用は、利用範囲と写真の許諾を確認した素材に限定します。企業ロゴや掲載文も事前確認を行います。

資金が足りない・予定が変わる場合

会場・資金・人員が揃うまで開催や補助を確約しません。中止・延期時の支出、未使用金の返還・次回充当を事前に合意。複数企業で支える場合も同じ支出を重複計上せず、月額応援・別キャンプ等との会計を区別します。

RBA NEXT COURT TOUR 2027 / 07 / NEXT STEP

どの地域に、
どんな機会を届けますか。

企業の担当者様へ

地域貢献、教育、健康、社員が暮らす街への還元。貴社が大切にする目的と、関心のある地域をお聞かせください。必要な費用と、支援によって実現できる範囲を整理してご提案します。

順序	進め方
1. 相談	会社・担当者、希望地域、目的、関心のある支援、予算目安を共有。
2. 企画の照合	対象、大会・学校日程、会場、地域協力者、費用をRBAが確認。
3. 書面で合意	使途、掲載、報告、費用、契約期間、延期・中止の扱いを確定。
4. 実施と報告	条件の整った地域で実施し、活動・学習・費用を報告。

お問い合わせ

Riot Basketball Academy 代表 西尾優人
メール：riot.training.base@gmail.com
企画・相談：https://riotbasketballacademy.com/ja/national-tour

相談のみで契約・予約・費用は発生しません。ご相談の段階で、子どもの氏名・経済事情・医療情報を送る必要はありません。

調査・実施判断の基礎

JBAの2025年度競技者登録数（2026年3月1日現在）、2026年度U12・U15大会予定、各県協会・地区の公式資料を基に別途地域調査を実施。登録規模は参加見込み数とは区別し、2027年度資料の公開後に再照合します。全県・全大会の日付照合済みではありません。

JBA 競技者登録数 / JBA U12大会予定 / JBA U15大会予定 / 都道府県協会一覧